

## 第5学年 理科学習モデル指導案

### 1. 単元名 「流れる水のはたらき」

### 2. 本時について

#### (1) 本時の目標

○洪水のときの様子や、洪水を防ぐための工夫について調べる。

#### (2) 本時の展開(最後の10分の展開)

分	教師の支援	学習活動
1		T: 福井県にある「九頭竜川」という川についてのマンガを読みましょう。
	☆ワークシート「自分たちにもできる災害への対策を考えよう」を配付し、地名と土地の様子 の関係を知り、自分たちにもできる災害対策の方法について考え、話し合わせる。	
3	●マンガを読んだ感想を発表させる。	T: マンガを読んだ感想を、発表してください。 C: 地名と土地の様子に関係があるなんてびっくりした。 C: 自分の住んでいるところの地名の由来を調べたくなった。 C: 昔の人の知恵はすごいと思った。
5	●マンガを通して伝えたいことをまとめる。	T: マンガにあるように、土地の様子を伝えるという方法が災害対策にもなる のですね。
8	●自分たちにもできそうな対策について考えさせ、ワークシートに個々に記述させる。 ●考えた対策について話し合わせて、何人かに発表させる。出た対策を板書する。	T: この地域に住む人へ、危険な土地の様子を伝えるために、みなさんができ そうな取り組みを考えて、話し合いま しょう。 わたしたちが住んでいる地域で できることを考えてもいいですね。 C: 新聞をつかって学校に貼るとか。 C: ハザードマップをつかって配ったら どうかな。
9	☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。	
	<p>地域の防災に活躍した先人の工夫や思いを伝えていく以外にも、災害が起きる可能性の高い土地の特徴を伝えるなど、自分たちにも災害対策のためにできる取り組みはあります。災害はいつ起きるかわかりません。</p> <p style="color: red;">生命を守るためには、ダムや堤防など、自分の住む地域にある防災施設や設備を事前に知っておくだけでなく、自分にもできる取り組みを考え、実行していくことが大切です。それは自分の生命を守るだけでなく、家族や地域の人々の生命を守ることに繋がります。</p>	